

衝撃～しょうげき～

Show Get-key

オートバックスセブン
株主通信

vol.20

第61期 第1四半期 事業報告書 2007.4.1から2007.6.30



オートバックスグループの大義

「車好きのユートピアを創る」 「世界中のドライバーを車好きに変える」

二つの大義を実現するため、私たちオートバックスグループは、
お客様の満足のためにカーライフスタイルの創造に挑戦し続けます。

オートバックスグループのビジョン

「車のことなら何でもお任せ」

全てのドライバーのご要望にお応えできるよう、
私たちはトータルカーライフサービスの充実をさらに加速させていきます。

Contents 目次

CEO Message

ごあいさつ 1

Special Feature

「車販売」の成長を加速させる「スゴ買い」を独自開発 2

AUTOBACS Close Up

スーパーオートバックスかしわ沼南 5

Topics

トピックス 6

Financial Section

財務報告 8

Investor Information

株式情報 12

Corporate Data

会社情報 13

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載してある戦略や今後の事業展開など歴史的事実に基づいていない部分は、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、実際はさまざまなリスク要因の変化により異なる結果となることがあります。

個人情報保護方針

株式会社オートバックスセブンは、個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報を適切に保護するため、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報を適切かつ安全に取り扱います。

カーライフスタイルの創造者 として独自のビジネスモデルを 次々と開発

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここにオートバックスセブン株主通信「Show Get-key」Vol.20をお届けします。今号では、第61期第1四半期の業績概況とともに、「車販売」のさらなる強化を目的にグループ店舗への本格導入を開始した車両買取システム「スゴ買い」をご紹介します。



■ 当第1四半期の業績報告

当第1四半期の連結業績は、売上高は海外既存店の売上増加やオイル卸売業「バルスター株式会社」の連結子会社化などにより、前年同期比4.8%増の643億86百万円となりました。その一方、経常利益は同38.5%減の24億62百万円、四半期純利益は同45.4%減の11億54百万円となりました。減益の主な要因は、カーエレクトロニクス商品の中心価格帯が低下したことによる売上総利益率の低下に加え、店舗POSシステムの刷新および車買取・販売に係るシステム開発などのインフラ整備費や従業員の新規採用・教育関連費など、中期的な成長を実現するための戦略的費用が増加したことによるものです。

■ 中期経営計画の達成に向けて

現在、当社グループは2009年3月期を最終年度とする「中期経営計画」に取り組むなかで、主力ビジネスである「カー用品販売」の強みを活かしつつ、「車検・整備」「車販売」を新たなビジネスの柱に育成する事業展開を推し進めています。今回、独自

開発した「スゴ買い」は、車両査定や買取金額の設定などの専門知識と経験を不要とし、誰でも車の買取りをできるようにする画期的なシステムです。これはグループ全店舗での車買取・販売の取り扱いを可能とし、「車販売」のクオリティ向上と売上拡大に大きな効果を発揮します。

当社グループはカーライフスタイルの創造者として、顧客満足度を向上させるトータルカーライフサービスの一層の充実に努める所存です。そして、中期経営計画の最終目標に掲げた、国内チェーン売上高3,600億円、連結経常利益180億円、連結Mauque*45億円の達成を目指してまいります。株主の皆さまにおかれましては、当社グループへの変わりぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年9月

住野 公一

代表取締役 CEO



「車販売」の成長を加速させる 「スゴ買い」を独自開発



▲ 「スゴ買い」の端末を使用することで、誰でも簡単に車両の修復歴を調べることができるようになります。

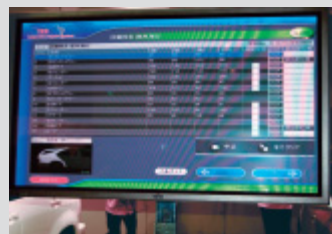
オートバックスグループは、車に関連するあらゆる事業領域をカバーし、お客さまのカーライフを生涯にわたって支援する「トータルカーライフサービス」の充実に向け、コア事業である「カー用品販売」の強みを活かしつつ、「車検・整備」「車販売」を強力に推進していきます。そこで、今回は本格導入を開始した車両買取システム「スゴ買い」を中心に、「車販売」の取り組みを特集します。

🚗 拡大を続ける「車販売」

「車販売」は、2002年に中古車オークションの株式会社オークネットと業務提携し、「C@RS」ブランドで本格的な展開をスタートした事業です。以来、全国で500店舗を超えるオートボックスグループのネットワークを「車販売」の拠点として活用する「オートボックスC@RS」コーナーの導入を進めてきました。現在、「オートボックスC@RS」コーナーの導入店舗は、全国のグループ店舗の約7割の378店舗(2007年8月末現在)まで拡大し、お客さまには常時ネット在庫2万台を超える在庫の中から中古車を選べるサービスと、国産全メーカーのカタログから新車を注文できるサービスを中心に提供しています。

また、グループ全店舗への「オートボックスC@RS」コーナーの導入に努める一方、テレビCMによる認知度の向上、販売パッケージの整備および従業員の販売・買取スキルの向上、カー用品の取り付けやカスタマイズの提案による差別化などを積極的に展開してきました。

その結果、チェーン車両販売台数は着実な拡大を続け、2007年3月期は過去最高となる1万5,400台を記録し、4年前の2003年3月期(約3,000台)と比べ約5倍の規模に成長しました。当期(2008年3月期)に関しては、車両販売台数をさらに拡大させ、初の2万台の突破を目指しています。



◀ 各パーツの状態を数値化。
より正確に査定が行われます。

🚗 画期的な車両買取システム「スゴ買い」

その一方、「車販売」と並行して取り組んできた車両買取は、「車販売」の主要な仕入れルートとなる重要な事業であるものの、車両査定や買取価格の設定などに関する専門知識を有する人材の確保が大きな壁となっていました。事故による修復歴を正確に見抜く専門的な知識と、日々変動する車両相場を踏まえた上でお客さまと交渉する能力が求められるからです。しかし、こうした知識、能力を習得するには一般的に最低でも5年以上の経験が必要といわれています。

この人材の確保を含めた車両買取における様々な課題を解消するため、今回、当社で独自開発した車両買取システムが「スゴ買い」です。「スゴ買い」は、誰でも簡単に車両の修復歴を調べることができるようになる画期的なシステムで、車両査定の正確性や買取価格の設定などに必要となる専門知識や経験がなくても、研修を受ければ誰でも買取りができるようになります。また、車両の見積書や契約書の作成、登録手続き、陸送、オークションでの売却などを本部で一元化することにより、店舗での煩雑な作業と経費負担を軽減するとともに、グループ全体でサービスの品質・スピードの向上をローコストで実現します。



◀ 査定データを本部に送信すると、
短時間で買取価格が表示されます。



全国のグループ店舗に「スゴ買い」を 配置し車両買取を強化

すでに「スゴ買い」は全国の120店舗(2007年8月末)で導入されていますが、これら導入各店舗では大きな成果が得られており、2009年3月期中に全国のグループ店舗へ配置する計画です。現在、国内の中古車流通台数は約820万台で、これらの平均車齢は約11年、平均耐久年数は約7年と推定されており、お客さまに人気の高い良質な中古車の流通量は減少する傾向にあります。当社グループは「スゴ買い」を武器に厳しい環境下における中古車の買取りを強化し、お客さまに人気の高い良質な中古車の品揃えを提供することにより「車販売」のさらなる拡大を目指していきます。

「スゴ買い」のテレビCMがスタート

2007年8月中旬より車両販売・買取に関するテレビCMを開始しました。今後、グループ各店舗に本格導入する車両買取システム「スゴ買い」の認知度向上に努め、グループ店舗における車両販売・買取をさらに加速させていきます。



のここがスゴい!

誰でも事故車が見抜ける!

専門家の知識・知恵をシステム化し、数万通りあるといわれる検査ポイントから見るべきポイントのみを抽出。簡単な研修を受けるだけで、誰でも専門家並みの検査品質や検査スピードの習得が可能になり、お客さまに良質な中古車を提供できます。

誰でも買取価格が設定できる!

数百万件という莫大な取引履歴と検査情報の連動により、本部で買取価格を設定。取引すればするほど価格算定の精度が上がる学習機能を持った人工知能を搭載。この機能により、今まで店舗や地域によって出ている価格の違いを無くすことができました。

どこよりも高い買取価格!

専門家の知識と知恵をグループ全体で効率的に共有できるコストメリットに加え、修復歴の見落としによる損失の最小化により、お客さまにはどこよりも高い買取価格を提供。

公正な「ワンプライス」!

お客さまには、どのグループ店舗で査定しても同一価格となる公正な「ワンプライス」での買取見積書を提供。価格交渉のわずらわしさはありません。

お客さまに「ゆとりの決断」を提供!

買取見積価格は一定期間の保証付き。従来の中古車販売時にありがちな「今すぐ」「今売らな」という商談ではなく、お客さまに一旦自宅に戻ってじっくり考える「ゆとりの決断」を提供。

詳細はオートボックスC@RSのウェブサイトでご覧いただけます。 <http://www.abcars.jp/>

スーパーオートバックス かしわ沼南

千葉県柏市風早の国道16号沿いに立地するスーパーオートバックスかしわ沼南は、グループ店舗の中でもいち早く「スゴ買い」を導入した店舗のひとつです。「スゴ買い」導入後の車両買取・販売をはじめとした店舗運営の変化について、同店舗のC@RSスタッフの工藤さんに話を聞きました。



スーパーオートバックスかしわ沼南



「スゴ買い」を使い査定する工藤さん

Q 「スゴ買い」導入により、店舗ではどのようなメリットが得られたのでしょうか。

A 従来は買取車両をオークションで売却する際に修復歴が判明し、買取価格を下回る価格が付くこともありましたが、「スゴ買い」により修復歴を正確に見抜けるようになりました。また、研修を受講すれば新入社員でも即戦力となる買取検査スキルを習得できるため、人員配置を含めた店舗運営上でも大きな効果が得られています。

Q お客様の反応はどうか。

A とても良いです。「査定金額がワンプライスで駆け引きがなくて

良い」「どのオートバックス店舗でも同じ査定価格なので安心」などのお声を頂戴しています。なかでも「家でゆっくり考えられる」という理由から、査定金額が一定期間保証される買取見積もりサービスが好評で、当店舗の車両買取に対する信頼性を高めることができたと感じています。

Q 買取実績や販売実績にも導入効果は現れているのでしょうか。

A どこよりも安心で有利な買取価格を提示できることにより、買取実績は日を追うごとに伸びています。これに伴い車両販売の機会が増え、販売実績も着実に積み上がっています。こうした実績の向上は、導入前に行っていたオークション会場へ行く時間や

陸送の手配等の手間が省け、今まで以上に多くのお客さまと商談する時間を増やせるようになったことにも寄与しています。さらに、車両買取・販売による集客効果によって、カー用品販売や車検・整備などへのシナジー効果も見られるようになりました。

Q 今後の車両買取・販売の目標台数を教えてください。

A 中長期的には、オートバックスグループ全体の目標である1名の専任者で月間50台の査定、今のところ成約率20%を目指しています。そのためには、まずは1名の専任者が月間50台の査定をコンスタントに達成できる体制を早急に構築し、当期の目標である成約率20%を達成したいと考えています。

株式会社オートバックスセブン

第60期定時株主総会のご報告



当社は2007年6月27日、ホテルイースト21東京（東京都江東区）において、第60期定時株主総会を開催しました。会場には約100名の株主さまがご来場され、議決権行使書を前もって提出していただいた株主さまを含め、前期の総会を上回る2,581名（議決権の数30万8,017個）の方にご出席いただきました。ご出席いただいた株主の皆さまに深く御礼申し上げます。

総会は、午前10時に開始し、代表取締役CEO住野公一、取締役CSO松尾隆から第60期の事業報告などを行った後、質疑応答を行いました。その後、利益処分、取締役8名の選任、監査役4名の選任など4つの議案を原案どおりで承認・可決し、1時間1分で

終了しました。なお、第2号議案は、株主の皆さまのご意向を勘案した結果、同議案の内容を再度検討することが適当であると判断し、撤回しました。

当社では、株主の皆さまとの質疑応答において頂戴した貴重なご意見・ご進言を、今後の経営に活かしていく所存です。本総会では4名の株主さまから合計9件のご質問をいただきました。今回はその中から、中期経営計画の重点課題のひとつとして取り組む海外事業戦略、ならびに自動車整備士の育成を通じたCSR（企業の社会的責任）活動に関連したご質問に対する当社の回答をご紹介します。



会場に併設したPRコーナーでは、株主の皆さまに事業内容をより深くご理解いただくため、資料配布やCMなどの放映を行いました。

Q 海外事業に注力していますが、2007年3月期における海外店舗の売上比率と、為替レートの変動が業績に与える影響を教えてください。

2007年3月期における海外店舗の売上比率は全体の4～5%です。為替レートの変動が業績に与える影響については、2007年3月期の売上実績をもとに計算すると対ユーロで円が1円上下動した場合、連結売上高は上下に約3,600万円変動します。対ドルで円が1円上下動した場合の変動幅は約2,400万円となります。また、当社は為替変動リスクの回避を目的として為替予約を行っています。

Q 2007年3月期は住野学園に3,300万円を寄付されています。住野学園は住野CEOが理事長を務めている学校法人ですが、これはCSR活動の一環ですか。

まず住野学園は自動車整備士を育成するための学校です。毎年100名前後の卒業生が輩出しており、そのうち30～50名がオートバックスグループに入社しております。従って、当社の事業活動に対して間接的に貢献していることに加え、社会貢献という観点から寄付いたしました。

女性客プロジェクト

「魁☆おなご塾」が本格始動

当社は、2007年6月より女性客をはじめとしたカーライフ初心者に対する接点強化を図るプロジェクト「魁☆おなご塾」を本格的にスタートしました。

同プロジェクトは、「世界中の女性ドライバーを車好きにする」ことをテーマに2005年12月に女性社員8名で発足し、店舗でのイベントやFC経営者に向けてプロジェクトの説明および店舗におけるプロジェクト発足依頼などを行ってきました。

同プロジェクトが企画プロデュースした書籍「運転大百科」(発行：学習研究社)の発行も行っており、今後商品パッケージの開発、売場の構築など活動を本格化します。そして、女性ドライバーのカーライフへの関心度・楽しみを向上させるコンシェルジュとして、女性客の増員を図ることでグループ全体の売上を向上させるとともに、女性客以外のマーケットへのシナジー効果も追求していきます。

ニュースリリース

4月

- 春の“ドライブ”応援フェア「ワクワク!春の行楽ドライブ 応援グッズプレゼント!キャンペーン」実施
- 「オートバックス大連職工街店」新規オープン(中国大連市)
- 「オートバックス大連星海店」新規オープン(中国大連市)
- 「スーパーオートバックス・ルート22北ナゴヤ」新規オープン(愛知県)
- 「スーパーオートバックス岸和田」新規オープン(大阪府)
- チェン内教育システム「ALMS」を開発
- 「S.I.S 東京スペシャルインポートカーショー 2007」に出展
- プライベートブランドホイール「E フォース モノブロック D3S」新発売

5月

- 米国カー用品店“STRAUSS Discount AUTO”の資産譲受完了
- 剰余金の配当の実施を決議
- 「オートバックス杭州豊潭店」新規オープン(中国杭州市)
- 「オートバックス紹興袍江店」新規オープン(中国紹興市)
- 「オートバックスエクスプレス・西福岡店」新規オープン(福岡県)
- 「SAPORO AUTO SALON 2007」に出展
- 定款を一部変更
- クレジットファシリティ設定を決議

6月

- 産経新聞社主催「オペラの華」コンサートシリーズ Vol.3へ特別協賛
- “オートバックス恒例!夏祭り”『スーパーアグリF1 チーム応援キャンペーン』実施
- “オートバックス恒例!夏祭り”『夏の暑さに負けない!カーライフわくわくキャンペーン』実施
- 株主総会議案を一部取り下げ
- 「オートバックス津店」改装新築オープン(三重県)
- 「オートバックス秩父店」新規オープン(埼玉県)

ニュースリリースの詳細は、
当社の企業紹介ウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.autobacs.co.jp/>

連結貸借対照表

単位：百万円

	第60期 第1四半期 (2006年6月30日現在)	第61期 第1四半期 (2007年6月30日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	108,294	122,612	119,264
現金及び預金	23,188	32,814	34,020
受取手形及び売掛金	17,683	25,309	15,833
有価証券	30,775	23,936	30,005
たな卸資産	19,275	21,179	19,654
繰延税金資産	2,008	2,240	2,325
未収入金	12,682	14,077	14,922
その他	3,254	3,497	2,862
貸倒引当金	△ 575	△ 443	△ 359
固定資産	117,309	124,667	121,362
有形固定資産	49,740	52,314	51,925
建物及び構築物	21,137	21,715	21,334
土地	22,330	23,948	23,512
その他	6,271	6,649	7,078
無形固定資産	11,248	13,791	13,041
投資その他の資産	56,319	58,561	56,395
投資有価証券	27,619	31,194	29,369
長期貸付金	1,755	1,298	1,245
繰延税金資産	4,343	2,224	2,496
長期差入保証金	22,584	22,162	21,884
その他	1,523	2,368	2,088
貸倒引当金	△ 1,506	△ 687	△ 690
資産合計	225,603	247,279	240,627
(負債の部)			
流動負債	42,565	55,108	48,881
支払手形及び買掛金	21,107	34,465	25,497
短期借入金	4,110	2,185	2,196
未払金	10,297	10,185	10,964
未払法人税等	965	1,274	3,426
その他	6,085	6,997	6,796
固定負債	21,250	23,024	23,095
社債	—	220	235
転換社債型新株予約権付社債	270	270	270
長期借入金	11,036	13,266	13,608
退職給付引当金	211	110	108
役員退職給与引当金	402	428	427
事業再構築引当金	955	264	274
その他	8,374	8,463	8,172
負債合計	63,816	78,132	71,977

単位：百万円

	第60期 第1四半期 (2006年6月30日現在)	第61期 第1四半期 (2007年6月30日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
(純資産の部)			
株主資本	161,316	166,058	166,052
資本金	33,998	33,998	33,998
資本剰余金	34,512	34,512	34,512
利益剰余金	97,092	103,082	103,075
自己株式	△ 4,287	△ 5,535	△ 5,534
評価・換算差額等	△ 37	2,411	1,942
その他有価証券評価差額金	156	2,176	1,935
為替換算調整勘定	△ 193	235	6
少数株主持分	508	677	655
純資産合計	161,787	169,147	168,650
負債純資産合計	225,603	247,279	240,627

連結損益計算書

単位：百万円

	第60期 第1四半期 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日)	第61期 第1四半期 (自 2007年4月 1日 至 2007年6月30日)	第60期 (自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日)
売上高	61,459	64,386	242,532
売上原価	43,222	46,405	167,788
売上総利益	18,237	17,980	74,743
販売費及び一般管理費	15,167	16,767	62,524
営業利益	3,069	1,213	12,219
営業外収益	1,472	1,809	6,062
営業外費用	534	560	1,958
経常利益	4,007	2,462	16,323
特別利益	159	5	965
特別損失	216	—	740
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,950	2,468	16,549
法人税、住民税及び事業税	972	1,269	6,314
法人税等調整額	862	29	1,219
少数株主利益(△)・損失	△ 3	△ 16	150
四半期(当期)純利益	2,112	1,154	9,165

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	第60期 第1四半期 (自2006年4月1日 至2006年6月30日)	第61期 第1四半期 (自2007年4月1日 至2007年6月30日)	第60期 (自2006年4月1日 至2007年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,684	△ 622	17,215
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,950	2,468	16,549
減価償却費	1,113	1,499	5,874
減損損失	—	—	222
売上債権の増減額(増加:△)	△ 3,070	△ 8,711	△ 2,888
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 2,245	△ 1,497	△ 1,942
その他	3,214	8,851	6,333
小計	2,963	2,609	24,149
利息及び配当金の受取額	123	168	915
利息の支払額	△ 54	△ 54	△ 173
法人税等の支払額	△ 4,716	△ 3,346	△ 7,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,709	△ 6,263	△ 7,102
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 2,658	△ 3,999	△ 10,355
有価証券及び投資有価証券の取得・売却	△ 2,214	△ 2,091	3,722
その他	164	△ 172	△ 469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,677	△ 1,530	△ 4,698
短期借入金の増減額(減少:△)	△ 612	△ 8	△ 2,054
長期借入金の返済による支出	△ 416	△ 444	△ 1,693
自己株式取得による支出	△ 686	△ 0	△ 1,932
配当金の支払額	△ 1,004	△ 1,147	△ 2,075
その他	43	71	3,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	292	189
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 9,069	△ 8,123	5,604
現金及び現金同等物の期首残高	53,622	59,226	53,622
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	44,552	51,102	59,226

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 44,159百万円

2. 1株当たり四半期(当期)純利益 30円19銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業態別店舗数

	第60期 第1四半期 (2006年6月30日現在)	第61期 第1四半期 (2007年6月30日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	66	72	70
Type I	6	6	6
Type II	60	66	64
オートバックス	405	399	402
オートハローズ	11	11	11
オートバックス走り屋天国セコハン市場	28	30	27
オートバックスエクスプレス	6	8	7
海外(スーパーオートバックス、オートバックス)	19	114	21
合計	535	634	538

要約個別貸借対照表

単位：百万円

	第60期 第1四半期 (2006年6月30日現在)	第61期 第1四半期 (2007年6月30日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	100,683	108,717	107,384
固定資産	123,779	137,762	130,300
有形固定資産	41,141	42,548	42,371
無形固定資産	5,159	7,372	6,627
投資その他の資産	77,478	87,841	81,301
資産合計	224,462	246,479	237,684
(負債の部)			
流動負債	40,787	53,541	45,769
固定負債	20,981	22,178	22,297
負債合計	61,769	75,720	68,066
(純資産の部)			
資本金	33,998	33,998	33,998
資本剰余金	34,512	34,512	34,512
利益剰余金	98,301	105,589	104,688
自己株式	△ 4,264	△ 5,511	△ 5,510
評価・換算差額等	146	2,170	1,928
純資産合計	162,693	170,759	169,617
負債純資産合計	224,462	246,479	237,684

要約個別損益計算書

単位：百万円

	第60期 第1四半期 (自 2006年4月 1日 至 2006年6月30日)	第61期 第1四半期 (自 2007年4月 1日 至 2007年6月30日)	第60期 (自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日)
売上高	53,556	54,279	203,272
売上原価	42,826	44,374	161,261
売上総利益	10,729	9,904	42,010
販売費及び一般管理費	6,566	7,724	28,247
営業利益	4,162	2,180	13,763
営業外収益	1,259	1,622	4,837
営業外費用	436	485	1,441
経常利益	4,985	3,317	17,159
特別利益	434	15	1,397
特別損失	192	—	826
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,227	3,332	17,729
法人税、住民税及び事業税	790	1,046	5,628
法人税等調整額	1,179	238	1,385
四半期(当期)純利益	3,258	2,047	10,716

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 32,868百万円

2. 1株当たり四半期(当期)純利益 53円56銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

2007年3月31日現在

発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	39,255,175株
株主数	10,357名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 なお臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

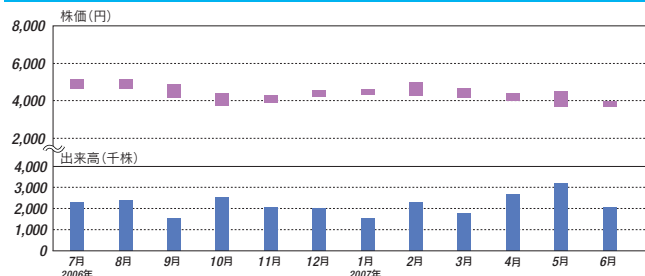
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)

名義書換取次所 住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

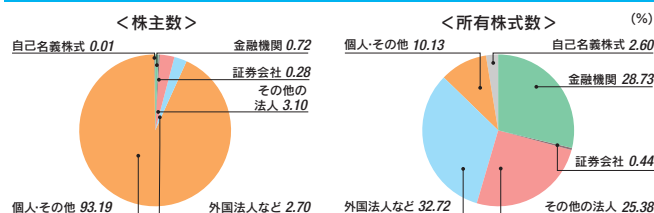
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4) ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブアカウント アメリカン クライアント ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー-505019 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 株式会社スミシヨウホールディングス 資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口) インベスターズ バンク ウェスト ペンション ファンド クライアント
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

注) 1. 当社は自己株式1,018千株 (所有割合2.60%) を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています (2007年3月31日現在)。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。
3. ロンドン証券取引所は2007年3月30日の取引開始時に上場廃止を完了しております。

株価推移 (大阪証券取引所)



所有者別状況 (2007年3月31日現在)



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願いいたします。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行㈱の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートバックス』、『スーパーオートバックス』などで、1,000円(消費税込み)のご利用につき1枚お使いいただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。
〔ご参考〕

- 配布枚数 (半期毎) : 所有株式数 100株~999株 優待券25枚
1,000株~ 優待券50枚
- ご優待券は商品券・他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- ご優待券は日本国内のオートバックス、スーパーオートバックス、オートバックス走り屋天国セコハン市場、オートバックスエクスプレス、オートハローズおよびテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートバックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
- ご優待券は燃料、車両、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。

※車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

会社情報

Corporate Data

2007年6月27日現在

商号

株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

創業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェーン展開しております。

役員一覧

(2007年6月27日現在)

取締役・監査役

代表取締役

住野 公一^{※1} CEO

取締役

湧田 節夫

経森 康弘

松尾 隆^{※1} CSO経営戦略推進統括 兼
Co-COO 海外事業戦略推進統括

中田 康雄^{※2} (カルビー(株) 代表取締役社長 兼 CEO)

宮内 英樹^{※2}

森本 弘徳^{※1} Co-COO
エリアドミナント戦略推進統括 兼 トータルカーライフ
事業戦略推進統括 兼 店舗開発担当

武田 健一

監査役

野上 明 常勤監査役

森野孝太郎^{※3} 常勤監査役

住野 泰士 常勤監査役

田邊 健介^{※3} 監査役(東海労働金庫 常勤監事)

主要な事業所

本社	(東京都江東区)	欧米事業部	(東京都江東区)
北日本エリア事業部	(仙台市泉区)	アジア事業部	(東京都江東区)
北関東エリア事業部	(千葉県市川市)	中国事業部	(東京都江東区)
南関東エリア事業部	(千葉県市川市)		
中部エリア事業部	(名古屋市名東区)		
関西エリア事業部	(大阪府吹田市)		
南日本エリア事業部	(福岡市博多区)		

オフィサー (取締役兼務を除く)

伊藤 浩明	北日本エリア事業部長
江副 正通	北関東エリア事業部長
江本 吉弘	海外戦略推進担当 兼 中国事業部長
加藤 哲也	南日本エリア事業部長
上西園英司	人事・総務担当
榎 宏介	C@RS事業担当 兼 車検整備事業担当 兼 C@RS事業推進部長
小林喜夫巳	カー用品事業担当 兼 トータルカーライフ商品管理部長
小平 智志	経営戦略推進担当 兼 財務担当 兼 新規事業開発担当
角倉 正親	南関東エリア事業部長
住野 耕三	経理担当 兼 情報システム担当
戸出 譲	中部エリア事業部長
松村 晃行	関西エリア事業部長
深山 義郎	新規事業担当 兼 ライコランドFC本部長
森本 真臣	U-PARTS事業担当 兼 販売促進担当 兼 販売促進部長

※1 オフィサー兼務

※2 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※3 会社法第2条第16号に定める社外監査役

オートバックスは、 スゴく高い。



新 買い取り査定システム「スゴ買い」誕生!



 **AUTOBACS**

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社 オートバックスセブン 東京都江東区豊洲5-6-52 ISTビル 〒135-8717



大豆インクを使用し、古紙配合率100%の再生紙に、水なし印刷をしています。

お問い合わせ先

- IR情報に関するお問い合わせ
経営企画部 広報・IRグループ
電話：03-6219-8718 e-mail：investors@autobacs.com
- 住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ
住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-175-417（住所変更専用紙のご請求） 0120-176-417（その他のご照会）
※詳細は12ページをご確認ください。